

ピッチに落とした
コンタクトレンズを
10分で発見できる
ような性能です。

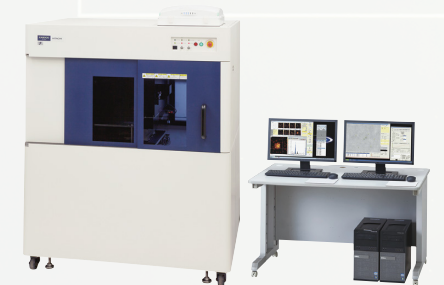
リチウムイオン二次電池や燃料電池は、新しい時代のエネルギーデバイスとしてその需要はさらに大きくなってきました。その製造現場を、いままで悩ませてきたのが、材料に混入する金属異物です。従来の汎用的な異物解析装置では発見できなかった金属異物が、不良製品を生み出し、歩留まりを悪くしていました。日立ハイテックグループのX線異物解析装置EA8000は、リチウムイオン二次電池や燃料電池の製造現場に特化。透過X線の技術を応用して、見つかることのできなかった20 μ m程度の金属異物を発見し、その元素が何であるかも判断します。しかも、わずか10分。日立ハイテックグループは、企業の品質管理に貢献します。

デモンストレーション動画はこちら



X線異物解析装置

EA8000



どんなに上手に隠れても、
「いるか」「いないか」を
10分で判定してみせます。

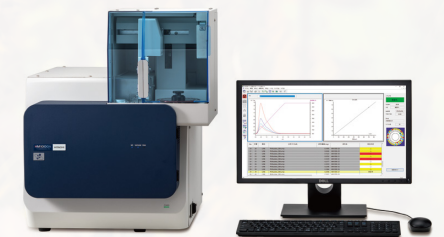
2019年7月、RoHS指令により欧州へ輸出される家電・通信機器には、フタル酸エステル類の使用が禁じられました。従来、フタル酸エステル類の検出には、汎用的な性能を持つ分析装置によって10時間以上かかりました。日立ハイテックグループのHM1000Aは、現場のニーズに応えたフタル酸エステル類専用の分析計。サンプルから気化させた被測定物質の分子構造を壊すことなくイオン化し、直接質量分析するという全く新しい発想。かんたんなオペレーションで1サンプルをわずか10分で分析します。しかも現場に設置できるサイズで、メンテナンスも容易です。汎用機から専用機になることで、現場に使いやすく、スピーディに。日立ハイテックグループは、企業のグローバルな信用を守ります。

デモンストレーション動画はこちら



加熱脱離質量分析計
(フタル酸エステル類検査装置)

HM1000A



わざわざおいで
いただかなくても、
その場ですぐに分析
させていただきます。

日立ハイテクノロジーズは、別々の測定原理に基づく2シリーズのハンドヘルド分析装置で用途に応じたオンサイト(現場)での元素分析を実現します。スクラップヤードやリサイクル分野など現場での分析が求められる場面をはじめ、サンプルサイズやシチュエーションから分析室に持ち込めないサンプルをその場で数秒で分析することが可能です。X-MET8000は、ハンドヘルド蛍光X線分析装置で、金属以外の幅広い分析対象に対応でき、非破壊での分析が可能です。VULCAN+はレーザー誘起ブレークダウン分光分析装置で、アルミニウムなどの軽元素を得意とし、約1秒という圧倒的な分析スピードが特長です。どちらのシリーズも現場での使用を考え、高い防塵・防滴性と堅牢性を実現しています。ラボからフィールドへ。日立ハイテクノロジーズは、分析の可能性をさらに進化させていきます。

ハンドヘルド
蛍光 X 線分析装置

X-MET8000



ハンドヘルド
LIBS 分析装置

VULCAN+



デモンストレーション動画はQRコードから

